

枠工比較選定表

NO.05003000500365

	木製枠工	ふとんかご工	かご枠工
設置状況			
主要部材	<ul style="list-style-type: none"> ・保存材注入木材 ・中詰土砂及び土留シート ・ボルト 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄線かご ・中詰栗石 	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接金網、丸鋼 ・中詰土砂及び土留シート
評価	評価	評価	評価
施工性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組立が単純で専門的労働力を要しない ◎ 工程が設置のみと単純で施工が早く、工期が短縮される ○ 中詰に現地発生土砂の使用が可能である ○ 中詰めの栗石は50から利用可能である 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組立が容易で専門的労働力を要しない。 ○ 工程が単純で施工が早く、工期が短縮される △ 中詰に現地発生土砂を使用するには内張材が必要 △ 中詰めの栗石は150以上必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組立が容易で専門的労働力を要しない。 ○ 工程が単純で施工が早く、工期が短縮される ○ 中詰に現地発生土砂の使用が可能である ○ 中詰めの栗石は50から利用可能である
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺環境によく馴染む ○ 加工時のCO2発生量が少ない ○ 木材の重量は6KN/m3と軽く、運搬時の消費エネルギーが少ない ○ 廃棄時の焼却処分CO2が発生するが、廃棄までの期間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> △ 鋼製枠材は自然環境に調和する美しさに乏しい × 鋼材の製造時に大量のCO2を発生する。 × 鋼材の重量は78KN/m3と重く、運搬時の消費エネルギーが多い × 廃棄時には回収して再生できるが運搬コスト、再生コストがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> △ 鋼製枠材は自然環境に調和する美しさに乏しい × 鋼材の製造時に大量のCO2を発生する。 × 鋼材の重量は78KN/m3と重く、運搬時の消費エネルギーが多い × 廃棄時には回収して再生できるが運搬コスト、再生コストがかかる
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 24年間の試験結果から耐用年数は30年以上と推定され、緑化に時間がかかる箇所でも効果が維持できる。 ○ 10年保証あり 	<ul style="list-style-type: none"> △ 5年程度で、背面斜面の植物遷移が進み、安定することが前提の仮設構造物である。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 20年程度で、背面斜面の植物遷移が進み、安定することが前提の仮設構造物である。
概算工事費 (H=0.5m)	8900円/m 現地発生土利用の場合 7600円/m	9300円/m 現地発生土利用の場合 10000円/m	10300円/m 現地発生土利用の場合 9000円/m